

序章	第I章	第II章	第III章	第IV章	第V章	第VI章
					地域別構想	

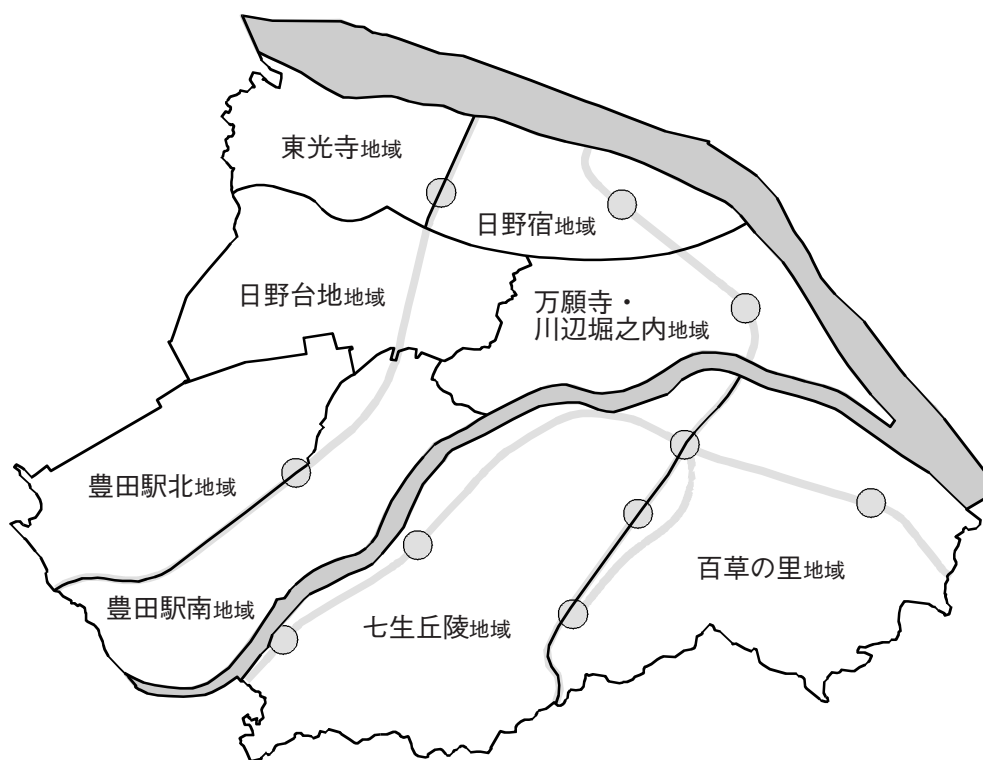
V-1 地域別まちづくり詳細計画の位置づけと役割

1. 地域区分の考え方

地域別まちづくり詳細計画を策定するに当たり、地域コミュニティの要素となる、地形、道路、小・中学校区、駅勢圏、土地区画整理事業等のまちづくりの単位など、さまざまなコミュニティを規定する圏域を重ね合わせ、8つの地域に区分しました。

この圏域は、実際は重ね合わさっているものであり、線で区切られるものではありません。また、今後、都市基盤整備の進捗状況や社会情勢を踏まえながら、柔軟に見直していきます。

図 8つの地域区分



2. 位置づけと役割

地域別まちづくり詳細計画は、地域の方々のさまざまなつづやきをもとに作成されました。

この計画は、各地域にお住まいの方々の緩やかな「まちづくりのルール」となります。

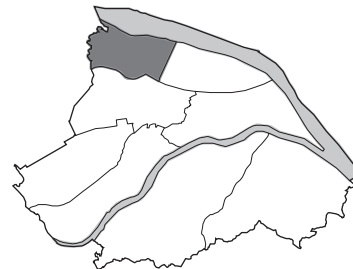
今後、地区計画などを策定するなど、地区のまちづくりを進めていく時には、この計画の基本方針を踏まえながら、まちづくりが進められていきます。

また、全体構想と同様に、地域の方々の意見を踏まえながら、おおむね5年をめぐりに柔軟に見直していきます。

V-2 地域別まちづくり詳細計画

東光寺地域

日野の玄関のあるまち



東光寺

現況と課題

緑

- ◆東光寺地域には、東光寺に広がる林や崖線の緑地など、大きな緑があります。
- ◆また、昔ながらの自生植物があり、生き物が暮らせる環境が残されています。
- ◆近年、崖線の中に住宅が建設されるなど、身近にある自然が壊されようとしています。
- ◆今ある自然をみんなで守り育てていかなければなりません。

子ども

- ◆東光寺地域には、緑地や多摩川など恵まれた自然がたくさんあります。
- ◆しかし、子どもたちが安心して自然にふれあい楽しめる場がありません。
- ◆生き物が暮らせるような自然を活かした公園で、子どもたちが遊び、身近に自然を感じ、学べる環境が求められています。

農

- ◆東光寺地域には、東光寺の農地や、よそう森堀のような自然のままの用水路が残されています。
- ◆しかし、開発や後継者不足に伴い農地は減少し、用水路は暗渠化され、日々の暮らしとは離れた存在になりつつあります。
- ◆新しいライフスタイルが模索されている現在、農の生業を体験し、自分が食べるものが目に見えるところでつくられる安心感を得られる環境が求められています。

日野駅

- ◆日野駅は立川と八王子に挟まれており、日野駅周辺の商店街にはあまり活気がありません。
- ◆また、駅周辺には違法駐輪が目立ち、駅前広場には人がくつろげる空間がありません。
- ◆日野駅は、訪れる人が最初に目にする「日野の玄関口」としての役割を担っています。
- ◆駅周辺をゆとりある空間につくりあげ、日野にふさわしい景観をつくるとともに、楽しく買い物ができる商店街づくりに取り組み、にぎわいと安らぎのある場にしていかなければなりません。

安心

- ◆東光寺地域には、道路が狭いエリアが多く、歩行者にとって大変危険です。
- ◆また、消防車等が入れないなど、災害時にも危険性が高い地区があります。
- ◆道路網の整備や公共交通システムの改善を進めることや、防災性の向上を図ることによって、誰もが安心して暮らせるまちにしていけることが求められています。
- ◆また、いつまでも住み続けたいと思えるような住環境をつくるために、隣近所で支え合う生活ができるような交流のあるまちであることが望まれています。

愛着

- ◆東光寺地域には、成就院や七つ塚などの史跡が残されています。
- ◆これらの遺産を再認識することで、自分たちが暮らす地域への理解が深まります。
- ◆また、子どもたちが地域について学んだり、地域清掃等のイベントに参加することにより、地域への愛着を持つようになることが期待されています。



【現況課題図～地域住民によるさまざまな情報】



暮らし方の目標

身近な自然を楽しみ、親しめる暮らし

- 東光寺地域からは、東光寺周辺の林や崖線の緑など、豊かな緑を見渡すことができます。また、そこにはさまざまな動植物が生息しています。
- 緑地の公有地化や緑地保全のための新たな制度の設立などの対策だけでなく、まちなかの樹木の保全や住宅地の生け垣化を進めることによって、恵まれた自然を日頃の生活の中で身近に感じることのできるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

東光寺の林の広がりや日野駅から見える崖線の緑を守っていこう

日野にずっと前から自生していたカタクリなどの植物を守っていこう

タヌキやオオタカがやってくる自然を残し、緑をつないでいこう

■ プロジェクト ■

【緑の保全と緑のネットワーク化プロジェクト】

- ・緑の公有地化（都市公園法や都市緑地保全法、都条例などの法制度の活用）
- ・緑地保全のための新たな制度の創設（緑地内での住宅建設の規制制度の検討、樹林地の税制上の優遇措置、樹林地と宅地の交換制度など）
- ・緑地トラストの設置検討
- ・地域住民による緑地の管理
- ・まちなかの樹木の保全（登録樹林・樹木制度の活用）
- ・住宅地などのフェンスやブロック塀の生け垣化（生け垣等設置に関する補助金交付要綱^{*}の活用）
- ・幹線道路の緑化の推進

暮らし方の目標

子どもが自然にふれあいながら、元気いっぱい遊ぶ暮らし

- 東光寺地域には、緑地や多摩川などの恵まれた自然がたくさんあります。
- 生き物が暮らせるような自然を活かした公園や、多摩川の水辺環境の中で、子どもたちが自由に遊びまわれるような暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

生き物が暮らせるような自然を活かした公園をつくろう

多摩川を楽しみ、親しめる水辺環境をつくりあげよう

■ プロジェクト ■

【自然を活かした公園プロジェクト】

- ・自然や地形を活かした公園整備
- ・利用者の意見を採り入れた公園整備

【多摩川に親しもうプロジェクト】

- ・ハイキングコースの整備
- ・住民による堤防の在り方やハイキングコースの活用方策の検討

※生け垣等設置に関する補助金交付要綱

暮らし方の目標

農業者の誇りと自然の恵みをみんなが感じ、
農地・用水をみんなで守り育てる暮らし

- 東光寺地域には、まとまった農地があり、農業を生業とされている方々がいます。また、よそう森堀のように自然のままの用水路が残されています。
- 都内でありながら、身近にある恵まれた農のある環境をいつまでも維持できるように、用水路を生活の一部として活用できるような対策や農業環境の充実によって、誰もが日常生活の中で農地・用水を大切に守り育てる意識を持てる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

カワセミやホタルがやってくる用水路を取り戻し、日々の暮らしを豊かにしていこう

食べるものが目に見えるところでつくられている安心感と、農の生業を体験できる環境を守っていこう

■ プロジェクト ■

【用水路を活かそうプロジェクト】

- ・田んぼを取り入れた公園の整備（よそう森公園）
- ・用水の開渠
- ・日野用水の整備とあわせた都道169号線の再整備
- ・地域住民による清掃活動
- ・環境に関する勉強会や観察会の開催

【農業環境の充実化プロジェクト】

- ・農地の生産緑地化（水田の積極的保全）
- ・農業専用街区の整備による農地の保全（東光寺地区）
- ・休耕田の借り上げによる市民農園の整備
- ・農の拠点（ファーマーズセンター：農業教育の場・農業研究機関）の設置
- ・駅周辺での朝市の開催

暮らし方の目標

いつでも人にふれあえる「出会いと交流」のある暮らし

- 日野駅は、日野を訪れる人が最初に目にする「日野の玄関口」としての役割を担っています。
- 日野の玄関口としてふさわしい景観づくりや、駅周辺の交通基盤整備、駅前広場をもてなしの空間として再生することによって、「出会いと交流」のある暮らしを目指します。
- また、生活密着型の商店街の充実と、歩いて買い物ができる環境の整備によって、にぎわいと安らぎのある商店街づくりを進め、いつでも人にふれあえる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

日野駅とその周辺を、利便性が高く、にぎわいと安らぎのある場にしよう

日野の玄関口にふさわしい景観をつくりあげよう

■ プロジェクト ■

【駅周辺の商業地の環境整備プロジェクト】

- ・歩いて買い物ができる歩道の整備
- ・アーケードを備えた放射状の商店街整備
- ・生活密着型で若い世代にも魅力ある商店街づくり
- ・ユニバーサルデザインの視点による駅周辺の環境整備
- ・日野駅の高架化と駐輪場の整備
- ・駅周辺のバスロータリーや駐車場の整備
- ・駅周辺の交通基盤整備
- ・駅への歩行者専用のアクセス道路整備
- ・停車スペース（障害者用乗降場を含む）の確保やタクシー乗り場の一本化など駅前広場の再整備
- ・日野駅前への行政サービス機能の検討
- ・まちづくり協議会の推進
- ・緑と水の豊かな駅前景観づくり
- ・多摩川までの緑豊かな散歩道の整備
- ・駅前広場にシンボルツリーを植樹
- ・看板類の規制

暮らし方の目標

誰もが安心して住み続けられ、いきいきと活動できる暮らし

- 東光寺地域には、道路が狭いエリアや公共交通システムが不十分であるエリアがあります。
- 誰もがスムーズに移動できるような公共交通システムを整備し、いつまでも住み続けたいと思えるような住環境をつくることによって、誰もが安心して住み続けられ、いきいきと活動できる暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

誰もが安心して歩くことのできる新しい道と、市役所や病院など、暮らしを支える施設に気軽に行ける公共交通システムを整備しよう

■ プロジェクト ■

【スムーズに移動できる交通システムプロジェクト】

- ・都市計画道路日3・4・8号線の整備促進
- ・都市計画道路日3・4・17号線、日3・4・22号線の整備促進
- ・交通量の変化にあわせた生活道路の交通規制（都道169号線の一方通行化など）
- ・狭隘道路の拡幅整備
- ・道路のバリアフリー化
- ・ミニバスの運行

年をとっても住み続けられるような住環境をつくりあげよう

【安全・安心・快適なまちづくりプロジェクト】

- ・区画整理事業の推進
- ・ゴミ集積場跡地のポケットパーク化の検討
- ・低層住宅地周辺における高層住宅の建設及び整った景観と良好な環境を保全するためのルールづくり（地区計画制度の活用やまちづくり条例の検討など）

【交流のあるまちプロジェクト】

- ・公共施設やトイレの開放
- ・地域交流拠点となる施設整備
- ・日野駅周辺の子育て施設の整備
- ・東光寺グラウンドの整備
- ・隣近所の交流をうながすきっかけづくり

暮らし方の目標

いつでも先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らし

- 東光寺地域には、成就院や七つ塚などの史跡が残されています。
- これらの史跡や伝統・風習を掘り起こし、次世代に引き継いでいくことによって、先人たちが残してきた遺産にふれあえ、地域への愛着を育める暮らしを目指します。

■ 目標を実現するための方針 ■

地域の誇りである史跡や伝統・風習を掘り起こし、次世代に引き継いでいこう

■ プロジェクト ■

【史跡を守ろうプロジェクト】

- ・史跡巡りコースの整備
- ・サイン・説明掲示板等の設置
- ・歴史的遺産を市指定文化財に指定
- ・積極的なPR活動

史跡巡りや祭りなどのイベントを通して、地域への愛着を育んでいこう

【地域を学ぼうプロジェクト】

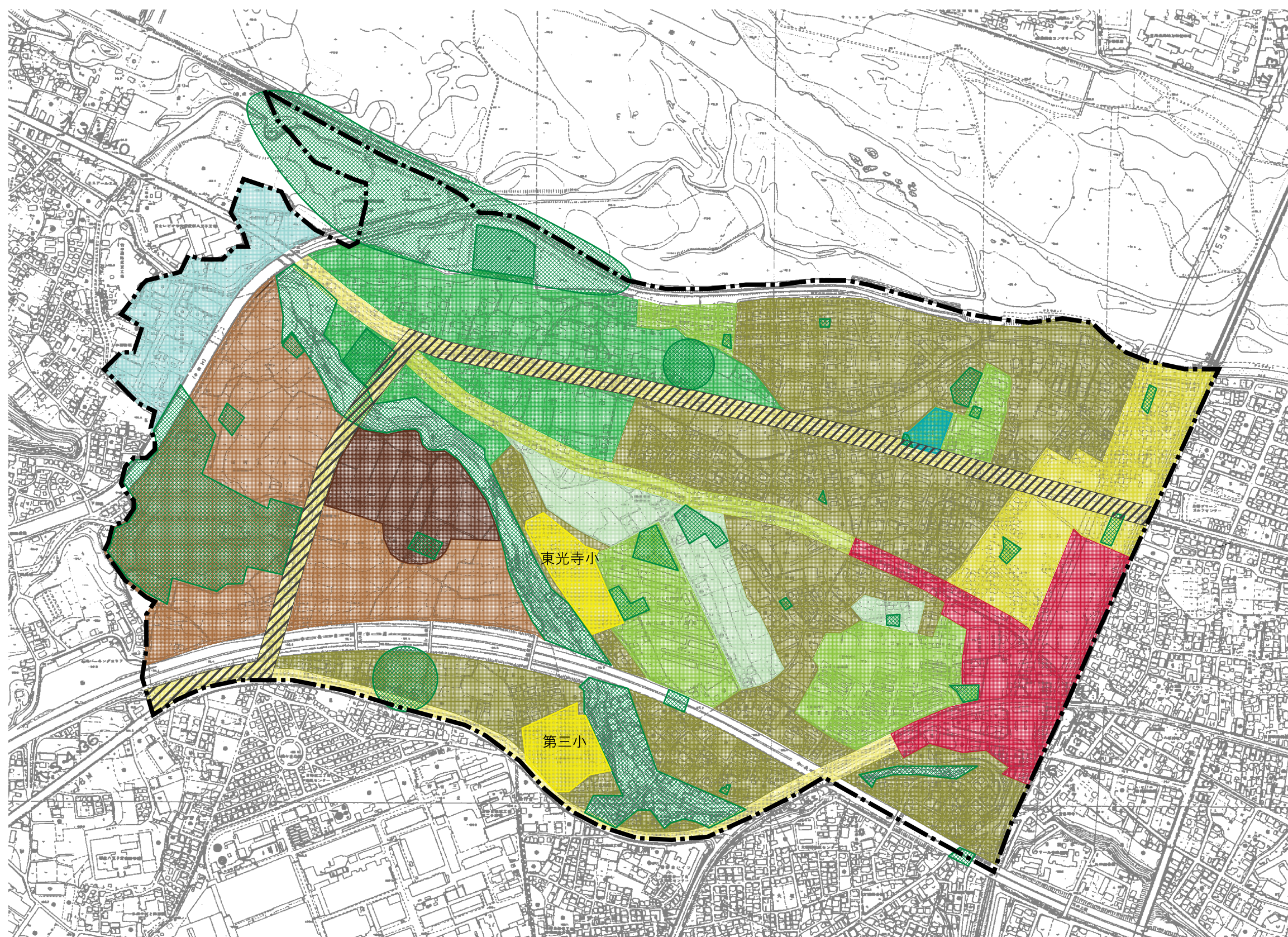
- ・地域の風習を知るための講座の開設
- ・小中学校の授業の一環として地域清掃
- ・朝市などの開催

まち会コラム その4

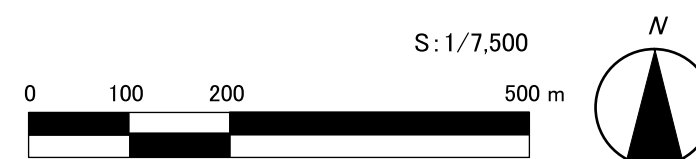


写真 筒井 孝雄

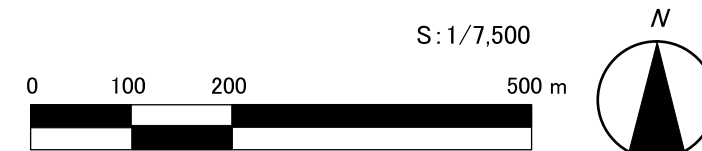
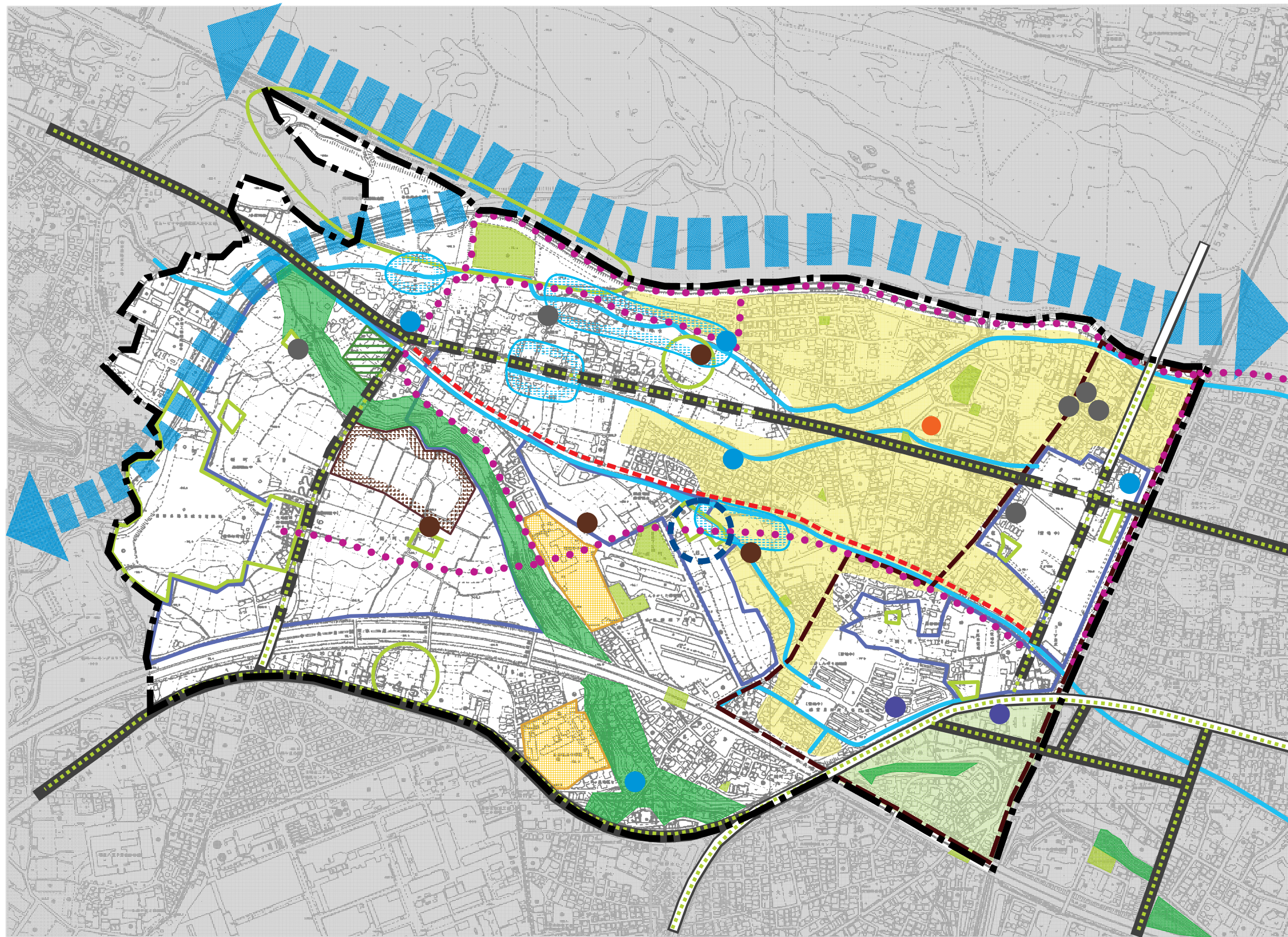
東光寺 地域 土地利用構想図



- 生き物がやってくるような
自然と調和のとれた
低層の住環境をつくっていこう
- 台地の広がりを感じ
農の生業を体験できるような
低層の住環境をつくっていこう
- 身近にある用水と住宅の緑を
活かしながら、まち並みが美しい
低層の住環境をつくっていこう
- 日野の玄関となるよう
用水や日野緑地などの自然と
住宅の緑を活かしながら
低層の住環境をつくっていこう
- 駅近くの利便性を享受できる
低・中層の住環境をつくっていこう
- 地域の緑のオアシスとなるような
住宅団地をつくっていこう
- 用水を活かした歩行者空間と
一体となったまち並みの整った
低・中層の住環境をつくっていこう
- 車利用の利便性を享受できる
まち並みの整った
低・中層の住環境をつくっていこう
- 日野緑地を望み、
さまざまな人が住み、働き、憩う、
にぎわいとやすらぎのある
駅前空間をつくっていこう
- 周辺の良い住環境と
調和するよう日野の産業を
支える工場を育んでいこう
- 日野の原風景を次世代に伝える
ため、農業を守り育んでいこう
- 地域に開かれた
福祉施設をつくっていこう
- 地域に開かれた
学校をつくっていこう
- 公園・緑地
- 日野環状線



東光寺 地域 主要プロジェクト図



【緑の保全と緑のネットワーク化】

- 帯状につながる崖線の緑の保全
- 条例等による緑地
- 幹線道路の緑化

【自然を生かした公園】

- 市民参加による自然を生かした公園整備(整備済/未整備)

【多摩川に親しもう】

- ハイキングコースの整備

【用水路を活かそう】

- 田んぼを取り入れた公園の整備
- 用水を活かした親水空間づくり
- 自然豊かな多摩川・谷地川/生き物がやってくる用水路の整備

【農業環境の充実化】

- 農地の保全
- 農の拠点づくり・ファーマーズセンター・環境学習

【駅周辺の商業地の環境整備】

- 駅を中心とした身近な生活圏におけるまちづくり

【スムーズに移動できる交通システム】

- 幹線道路の整備とバリアフリー化(完了/事業中/既成・未着手)
- 安心して住み続けるための住環境の改善(狭あい道路の整備)
- 日3・4・8の整備後、生活幹線道路として活用(ミニバス・交通規制等)

【安全・安心・快適なまちづくり】

- 区画整理事業による基盤整備
- 整った景観を守るためのルールづくり

【交流のあるまち】

- 交流拠点の整備
- 福祉施設
- 公共施設の開放(●は地区センター)

【史跡を守ろう】

- 史跡の保全と活用

【地域を学ぼう】

- 学校(余裕教室の活用)